

令和元年度学校評価(年間評価)

学校名 大分県立大分雄城台高等学校

前年度評価結果の概要
○文武両道に向けた取組の精選 ～「合理性」を意識した指導の推進
長期的な「到達目標」と日常的「授業目的」を意識した指導【授業改善】に努めることで、年間目標とした「リテラシー〔読解力〕の育成、根拠をふまえた論理的表現力の向上」について、一定の工夫・改善が図られた。

学校教育目標 中期目標 重点目標
「誠実・自主・創造」の校訓のもと、社会において逞しく生き抜き、積極的に社会貢献できる生徒の育成を目指す。
1 確かな学力の定着と3年間を見通した進路指導により、進路希望の達成を目指す。
2 真剣な学習活動と活発な部活動を通して、「文武両道」を推進する。
3 信頼関係に基づいた、手厚い生徒指導と積極的なキャリア教育により、心豊かで、尊敬される人材の育成を推進する。

Table with 8 columns: 重点目標, 達成(成果)指標, 重点的取組, 取組指標, PL SL, 自己評価結果 (評価, 分析・考察), 次年度の改善策, 学校関係者評価. Contains detailed evaluation data for various goals and activities.

総合評価 次年度への展望等
○組織的な授業改善による授業力の向上や個々の進路希望に応じた指導・添削等を行うことにより、全学年で学力の向上が見られた。次年度は、総合的な探究の時間と授業改善の運動により、ESDによる「持続可能な社会の構築」に貢献できる資質・能力を育成する指導と評価の研究を推進する。